

山田市長 姉妹都市交流では、小・中学生の交流を活発に行っています。小原学園では、修学旅行の行程に海老名市の訪問を組んで、海老名市の中学生と交流を行っています。子どものこ

子どもたちの相互交流

都市を案内する市民視察という事業を実施しています。いまの話の聞くと、白石市への市民視察を「鬼小十郎まつり」が行われる10月に実施するのも良いのかもしれないですね。白石市にはバスで向かうので、途中にいろいろな観光地を経由して向かうことができます。最近参加者が中高年の方が多いので、白石城の階段を上がるのが大変な方も増えていて、行程も検討しているところです。春に白石城の桜を見るツアーなども検討していましたが、10月はとも良い季節ですね。登別市には、札幌の雪まつりを巡るツアーなども検討していますが、この時期はとても混雑しているのので、北海道の桜を追いかけられるツアーなどの企画を検討したいと思っています。

内野市長 少年野球も白石市のチームが少なくなりました。今後は登別市を含めた3市の持ち回りで開催してはいい

小笠原市長 スポーツ交流も活発に行っています。特に少年野球は役員の方たちが一生懸命に活動されていて、子どもたちの交流が活発に行われています。

内野市長 男女1人ずつだと寂しいという意見もあるようで、できれば男女2人ずつで実施したいと考えていました。

山田市長 いまは男女1人ずつの参加ですが、少しでも多くの子どもたちが交流できる機会が増えるのは良いことですね。

内野市長 白石市はなかなか面白い修学旅行を実施していて、箱根で会って交流したこともありました。ところで、中学生の交流で「ふるさとのまちを語る交流事業」を行っています。各市からの参加者を増やしてはどうでしょうか。

山田市長 海老名市と少年野球の交流をした時に、海老名市の選手が3市のゆるキャラを入れたTシャツを姉妹都市交流で着ていたのを見かけた時がありました。そのようなTシャツを姉妹都市交流のときに、3市共通で色違いで作れたらと考えていました。例えば、交流のときに子どもたちへのプレゼントとして準備できればと思いますし、Tシャツのほかにも、3市のゆるキャラのピンバッジのようなものを作れたらと考え、それを行

小笠原市長 スポーツの交流は、野球のほかにもサッカーや武道も行っているの、それらについてもそれぞれの協会で話し合っていたら、今後のことを検討していきたいですね。

山田市長 海老名市では選手の数が増えていない状況ですが、どうしても差が出てしまっているように、今後のことを考えていきたいと思っています。

内野市長 面白いですね。ぜひ、進めていきましょう。今回はこのような機会を設けていただきありがとうございます。

小笠原市長 これからも3市のトライアングル交流を発展させていきたいですね。

山田市長 非常に良い意見交換ができたと思います。今後ともよろしく願います。



北海道登別市 小笠原 春一 市長
神奈川県海老名市 内野 優 市長
宮城県白石市 山田 裕一 市長

新春 トークセッション トライアングル交流のさらなる推進

本市の姉妹都市である北海道登別市おがさわらはるいち小笠原春一市長、神奈川県海老名市うちのまさる内野優市長を迎え、アフターコロナを見据えたトライアングル交流の促進について山田市長を含め鼎談を行いました。

「まつり」を中心とした交流

山田市長 姉妹都市である北海道登別市、神奈川県海老名市の3市の首長が一堂に会し、アフターコロナを見据えた3市のトライアングル交流を促進するため、意見交換ができればと思います。

小笠原市長 以前に山田市長と北海道札幌市白石区の区制50周年事業でお会いした際、これからの3市の交流について話をする機会がありました。

そのときに、市を代表するお祭りという白石市は「農業祭」も重要なお祭りですが、山田市長は「鬼小十郎まつり」も大事にしてほしいと伺いました。登別市も「幌別地区手づくり祭り」のほかにも1番歴史がある「登別地獄まつり」があるので、登別市は「登別地獄まつり」にも来てもらえたらありがたいと思っています。

内野市長 海老名市は、昔はいろいろな祭りがありました。いまは「えびな市民まつり」に統一して実施しています。また、海老名市では、市民向けに両姉妹

